



みなと

みなと 48号 2016年4月1日
兵庫県声の図書赤十字奉仕団
〒651-0073神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5
日本赤十字社兵庫県支部内
(Tel)078-241-9889 (Fax)078-241-6990
代表者 久保田 加奈女
編集者 本川 勝子

平成27年度第2回ボランティア実践研修会に参加して



テント設営完了



持ち上げ作業

平成28年2月20日(土)、平成27年度第2回赤十字防災ボランティア実践研修会が行われ、今回はドラッシュテントの設営を30名で研修しました。当初はなぎさ公園の予定でしたが、あいにくの雨のため、支部の1階駐車場で行いました。以前エアertentの研修に参加したことがありましたが、ドラッシュテント設置は初めての経験で、事前にマニュアルを配布されていましたが、図を見るだけでは理解しづらく、足手まといになるのではと不安でした。

まず、7階会議室で、設置手順の説明を受け、注意点を確認しました。ドラッシュテントは総重量300kgという、とてつもない重さです。そのため、まずリーダーを1名決め、必ずリーダーの声かけに従い行動することを特に注意されました。

さて、いよいよ実践開始。支部の倉庫に収納されているドラッシュテントを運び出し設置し、再び片づけるところまでの工程です。グランドシートの上にシェルターを広げていきますが、向きを間違えると大変です。リーダー達が確認しながら所定の位置まで持っていきます。グランドシートは横方向に13m 縦方向に9m程もあり、かなりの広さです。

まずプッシュポールを2名で持ち上げ、まっすぐ立っているかを確認。その後側面から同じ速度で押しながら上にあげていきます。万が一テントが崩れると、300kgの重みがかかり大けがにつながります。このように、リーダーの声かけ・互いの位置確認の重要性を実感する場面が、何度もありました。

テントは二重幕体構造により高い断熱効果があり、冬は暖かく夏は涼しいそうです。またエアータントに比べて傷に強いという利点があります。あとは細かな作業を協力しあって仕上げていきました。室内はLED電球のため明るく、エアコンも設置でき、非常に快調でした。実際の現場では緊急時の医療施設・負傷者の収容施設など、様々な場面で活躍することが期待できます。

午前10時から昼食をはさんで午後3時過ぎまで、4時間近くかかりました。実際には身長が低く力がないなど、残念ながら率先するというわけにはいきませんでした。

ドラッシュテントは、これからも様々な災害現場やこれから発生すると予測される南海トラフ地震の現場では、必ず役に立つことでしょう。しかしながら平たんな設置しやすい場所とは限らず、どのような状況下でも冷静に、迅速にできるように訓練を続けることが大切だと感じました。このような貴重な体験ができたことに感謝しつつ、さらなる実践訓練に期待したいと思います。

最後になりましたが、寒い中ご参加いただいた団員の皆様に御礼申し上げます。

久保田加奈女



広げる前のテント



テントを広げた状態



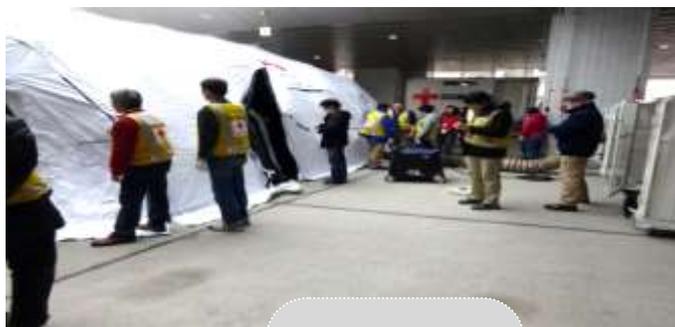
立ち上げた状態



テント内でポール立て作業



テント内の蛍光灯設置



エアコン設置作業

デイジー班



H.27 年度も、支部のご助力と団員皆様のご協力により、円滑に活動が出来、有難うございました。

デイジー班で編集・作成CD「日赤声のアルバム」を発行して9年目を迎えます。リスナーさんのご利用は、H.20年1月の27名からH.28年3月現在で216名の登録となり、月刊「日赤声のアルバム」203部と単行図書CD163作品を聴いて頂いています。

H.27年度で最も大きな動きは、発行図書が全てCDになったことです。それによって最後までテープを聞いて頂いていた方々もほぼ全員CDに移行して下さいました。はじめ多少の戸惑いは有ったものの何とか聞けていらっしゃるようです。また、図書がデジタルになったことで、CDそのものを聞くほか、データをより軽便な他機材に移して聞く等、聞き方も非常に多様化しているようです。そして日本点字図書館・ライトハウス等では、CDやSDカードのやり取りのほか、インターネット配信サービス（サピエ図書館）で、24時間いつでも全国加盟図書館の図書を即利用できるようなっています。視覚障がい者向け図書の世界も正に日進月歩なのです。

H.28年度は、このような中であっても、慌てず、流されず、遅れず、私たちの団の図書はどうあるべきか、しっかりと立ち位置を見極めつつ、対応できるように少しずつ歩を進めてゆきたいものです。

以上、新年度へ向けてのH.27年度のまとめ等、感想を書きました。

直田花子





「点訳ボランティア入門講座」に参加して

点字班に所属する事になりました。点字については全く知識のない私です。点字班の皆さんが黙々と作業（というか仕事？）をされているのは時折拝見していました。カードを作っておられる事もあったので、「まあ、私にも紙を切ったり、糊で貼ったりお手伝いできることもあるかも知れない。」とっていました。参加してみるとなかなかそれでは済まないようなのです。お手上げです。点字を知る必要がありそうです。困っている時に点字班の方に点訳の講座がある事を教えていただきました。

磯上通りにある市民福祉大学での点訳ボランティア入門講座で5月中旬から10月初旬まで週1回午後2時から4時まで20回のプログラムです。何よりシルバーに突入した私は、覚えるより忘れる方が早い傾向にあります。挫折しないか心配でした。

「始めるのに遅い事はない。」亡き義母の言葉に励まされて入門を申し込みました。

講座はあかりの会の例会と同じ日だったので、月2回の例会日は午前中に出席し、午後からは福祉交流センターに廻ることにしました。その間、点字班も休んでしまいました。なぜなら宿題が、結構大変だったのです。

講座の参加者は老若男女織り交ぜて当初23人。終了時は20人でした。

講師は、40代のご夫妻で、H先生は関西学院大学で教鞭を執るかたわら点訳者を育てておられる全盲の方で、身長は2メートルの巨漢。明るくて声も大きい。パートナーはしっかりとさりげなく先生のサポートをしておられ、イキもぴったりで。「宿題ができていないからって講座を休まないでね！」が口癖。始まりは大阪人特有のユーモアたっぷりのお話からですが、時事ネタや来る時の車中の事、小学生の愛娘さんの事などいろいろです。私の周りにもH先生の教え子が何人かおられて「あの方は視覚障害者の為に生まれてきたような人です。」との声もあるほどです。

私は自分には甘い体質です。低い目標を持ち、まず5回まで、10回までとしながら、ようやく修了証書を頂きました。15回以降は、宿題で徹夜もしました。点字の打ち直しというか、書き直しは禁じられたので、あと少しという所で緊張の糸が切れて、やり直しの憂き目に会う事もしばしば。何度もおろかな自身にイライラしました。

こんなに苦労したらしっかりと身につくと思われませんか？ ところがドッコイ。それまで週1回は関わっていたのが、遠ざかれば日に日に忘れてしまうのです。

「継続は力なり」は実感です。

例えば小学校の点字講習では、随分覚えが早いとか。うらやましいですね。

点字は、たった6個の点の組み合わせで、日本語も世界中の言語をも表すことができます。その仕組みもなかなか合理的なのに感心しました。

まだ、入り口をそっとのぞいてみただけで、点字を読むなんてとても・・・私にとってはちょっと体験しただけで、身にはつかなかったけれど多少プラスにはなったと思いたいです。スキルを磨くにはなるべく早い方が、私の場合は良かったかな！ ご協力下さったみなさま、ありがとうございました。

あかりの会 久保 麗子

単行図書検討会



団員の皆様、いつも単行図書制作にご協力いただきありがとうございます。
平成27年度 単行図書の貸し出し状況は以下の通りです。

(H27年3月1日～H28年2月29日)

・新刊登録

リスナーさんからのリクエスト本	5冊
単行図書検討会推薦本	6冊
自薦本	3冊
プライベート本	1冊
計	15冊

・貸し出し

デイジー図書	285冊
テープ図書	32冊
計	317冊



デイジー単行図書目録 2014 年度改定版贈呈

42名 (H28年2月末現在)

今年度も多くの単行図書をリスナーさんに聴いていただけるよう、特に新しい蔵書を制作するにあたっては、様々なジャンルや著者の作品を幅広く選ぶことや、リスナーさんの希望に沿った本・話題の本を取り上げる等を心がけていきたいと考えています。

また、単行図書を朗読して下さる団員を募集しています。毎月発行している「単行通信」をご覧になり、“この本読んでみたい！”や、“この本おもしろかったから、リスナーさんにも聴いてほしい”と思われた方、どんどんチャレンジして下さい。初めての方も大歓迎です。単行通信は、各グループに配布しておりますし、ボランティアルーム声奉のロッカーにも張り出しています。

声奉単行図書の充実のために、ご協力をよろしくお願い致します。

尚、単行本に関するご意見、ご要望がございましたら何なりとお聞かせ下さい。
今年度もよろしくお願い致します。

そよかぜ 佐竹洋子



朗読・音訳を見直す会



校正勉強会を受講して

7月から「朗読・音訳を見直す会」に参加しています。3月16日は「校正勉強会」でした。受講希望者には、事前に「見直す会」の校正担当者が準備された「校正実習用の宿題」が渡されました。「校正についての説明書」・実習用の音源をダビングしたメモリー・原稿・校正表用紙を頂き、宿題スタートです。

テキストとして用意された原稿は『負けんときーヴォーリズム満喜子の種まく日々上巻』第一章5ページから15ページまでの部分。早速「校正についての説明書」を読み、原稿から目を離さないで、ヘッドフォンの音を大きくして聴き始めました。この本を読んだことがない私は音訳の内容が気になりますが、話の筋は追わない！

音訳者が、勉強会のために誤読・脱字・雑音等入れて読まれているので、それを発見してホッとしたり、疑問に思う読みは辞書で調べ、校正表に書き込みました。2～3回聴いて間違いに気づかなかった箇所を、後になって時々見つけることも。

校正は長時間続けるとミスが多くなり、休憩・気分転換も大事ですね。ページ数が多い単行本は、焦らないで丁寧に…と思いました。勉強会当日が楽しみです。

◎ 3月16日(水)〔校正勉強会〕 出席者34名 日赤7階 講習室にて
今回は一次校正の勉強です。

1部：「一次校正とは、原本通りに読まれているか？の作業です」 三木講師
・リスナーの希望を例を挙げて詳しく説明

2部：「一次校正の内容を理解すること」 池内講師
・誤読や意味を違えるアクセント等・マニュアルの内容・校正表の書き方について

今まで揃って校正の学習をする機会があまりなかったので、参加者全員、時が経つのも忘れて話を伺い、質疑応答をしました。

宿題の「原稿11ページの中に潜んだ間違い」を探し出し、これも一問ずつの解説や話し合い、皆さんからの質問が活発に出て、楽しく有意義な勉強会でした。

校正・音訳・編集それぞれに関係した勉強でもあったでしょう。

講師お二人の共通した「お願い」は ①綺麗な「声の図書」をリスナーに送ってください。②必ずヘッドフォンを使って聴いてください（ノイズに敏感になってほしい）。③録音者は「調査表」（録音図書製作マニュアルの別紙3）を書いて校正者に渡してください。

勉強会で感じたことを書きました。「2回目もして頂きたいわね」の声も聞きました。私は、はっきり読んだと思った言葉が不明瞭なことがあり、注意しなくては…と反省です。

「みなと」に連載の「朗読・音訳を見直す会だより」の記事を読んで保存し、音訳で困った時などに助けて頂いています。

朗読・音



訳を見直す会 山崎和子

朗読・音訳を見直す会だより 第14号

朗読・音訳を見直す会では、今年も、朗読、音訳に必要と思われることを、発信していきたいと思えます。

数字の読み方

本奉仕団では、以下のように読むように申し合わせています。

1. 数字「4」「7」：原則として[ヨン][ナナ]と読む。ただし、慣用表現、熟語、固有名詞等で、読みが決まっている場合はそれに従う。＜参照＞兵庫県声の図書赤十字奉仕団 録音図書製作マニュアル（以下「声奉マニュアル」と略記）P4

*7月、17日、27日は[シチ]と読むのが自然ではないかと思ひ、昨年の交流会でリスナーのご意見をお聞きしたところ、日にちは分かりやすいほうが良いというご意見が多かったので、従来通り上記の読みになりました。

「4日（ヨッカ）と8日（ヨーカ）が分かりにくい」というご意見もありました。長母音はしっかり伸ばしてください。

なお、ご意見の中で一番印象的だったのは、「シチとかナナとかではなく、滑舌よく分かりやすく読んでほしい」でした。録音者も校正者も気をつけてください。

2. 電話番号：「ノ」を入れずに、1字ずつ読む。＜参照＞声奉マニュアルP4

朗読・音訳を見直す会だより第2号

＜例＞(03) 3501-0083[レイサン・サンゴーレイイチ・レイレイハチサン]

*以前は、3501の後ろに「ノ」を入れて読むのが決まりでしたが、携帯電話、IP電話の普及に伴い、読みが混乱しないように「ノ」を入れずに読むことにしました。

3. 郵便番号：「ノ」を入れて、1字ずつ読む。＜参照＞声奉マニュアルP4

朗読・音訳を見直す会だより第2号

＜例＞〒651-0073[ロクゴーイチ・ノ・レイレイナナサン]

4. 日赤兵庫県支部の番地：1-4-5[イチ・ノ・ヨン・ノ・ゴ]

＜参照＞平成27年度第6回運営委員会記録

*第6回運営委員会で、「日赤声のアルバム」での日赤兵庫県支部の番地の案内が、雑誌によって異なるので統一したほうが良いのでは、という意見が出され、今後「1ノ4ノ5」と案内することになりました。ただし、**表記されたものを読む時は、表記通りに読む**ようにしてください。

朗読・音訳を見直す会 池内早苗



リスナーだより



中原真理子 2015.10.27

いよいよ冬ですが、皆様はいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

「あじさい」10月号の感想ですが、重度吃音で男性の歯周病リスク3倍にですが、これは知りませんでした。これはとてもいいことだなと思いました。高齢者の多い誤嚥性肺炎ですが、これも周りが気を付けてあげないといけないのだと思いました。

視覚障害向けの野球中継ですが、始めてそんなことが在るのを知りました。こんなことがもっと増えたら良いのにな、と思いました。

イギリスで初めての人工眼手術を、始めて知り、わが国でもこんな事をやってほしいもののだと思いました。

音量をおさえ耳を休ませる機械が出来たとは、知りませんでした。でも、値段が高いのかと思いました。

舞台を盛り上げる掛け声ですが、勢いや、元気が有り良いなと思います。これは私の家も神戸新聞をとっているの、読んでもらいましたが画期的な事と思いました。

知らないアートの事も分かり良い勉強になります。

故郷住民票制度の構想ですが始めて知りましたがなぜか聞いていると面白そうだなと思いました。

山頭火を酔わせた京都京極ですが、歴史のある詩も面白いのだと思いました。

「第2の診断医師から声掛け」をですが、これも大事な事なのだなと思いました。

「視覚障害者に舞台の感動を」ピッコロシアターの音声ガイドは、知りませんでした。聞いてみたくなりました。

「鎮痛薬で胃潰瘍食欲不振」ですがこれも気を付けないと問題だなと思いました。

50年のポッキーチョコレートですが、そんなになったとは知りませんでした。よく昔から売れていると、私も好きだし美味しいですね。「ポッキーの日」があるなんて知らなかったです。それでは皆様寒さに向かいますが、くれぐれもお身体ご自愛ください。良い番組、楽しい番組、期待しています。

香山良樹 2015.12.1

交流会大変楽しく過ごさせて頂きました。

カンツオーネ良い歌でした。落語的解釈も面白かったです。その他、日赤の幾人かの人とお話が出来てありがとうございました。

大下さん芦田さん、送り迎え再々お世話になりました。寒い季節に向かいます。皆様の健康守られますように。



三輪利春 2015.12.7

松江市の三輪です。

いつもお世話になっております。

CD ケースを開けたら CD が入っていませんでした。ケースの中味 CD が入ってなくて戸惑いましたがどうかよろしくお願ひします。また、送って頂けると嬉しいです。



(再発送完了)

内山春子 2015.12.27

師走も押し迫り何かとあわただしい今日この頃です。毎月「日赤兵庫声の図書」を感謝して聞かせていただいております。個人的な都合により今回で中止させて頂きます。長年内容が豊富な CD を送って頂いて本当にありがとうございました。長年お世話になりました。どこかでお会いすることがありましたら声をかけていただければ嬉しく思います。

この CD がますます利用者のお役に立てますようにスタッフの皆様のご健康をお祈りしております。交流会は良い思い出になりました本当にお世話になりました。ありがとうございました。

中原 真理子 2015.12.3

何年振りかで**花時計**を聞かせて頂きました。それぞれのグループで趣向をこらしていますが、今回はあかりの会と言う事で始めて聞きました。朗読も多く東日本大震災のボランティアの様子も聞けてご苦労も聞けて良かったですよ。今後もうぞよろしくお祈りします。

PHP・・・始めて聞きました。新聞記事の抜粋ですがあじさいと似ていると思いました。2時間と長く盛り沢山だとも思います。雑誌記事を抜粋したかもしれませんね。今後とも期待しています。

雪・・・11月号を聞かせて頂きました。「生活安全情報」や「防コミ」の歩き方や、「西條遊児のおじゃましま〜す」や、心にサプリや薬の健康や、「ことば探偵局」や、「震災の新常識なるほど講座」や「神戸・人・文化」や「ぶらり歩いてみませんか道草神戸」や「お久しぶりです神戸ウイーンから」「港の見えるキッチンにて」や「中西省吾のシネマ指定席」などですが、多彩な内容ですね。今年も後ひと月ですが、火災や災害のない年末に世界中がなりたいものだと思います。寒い折りお身体をご自愛ください。来月も楽しみにしています。

かざぐるま・・・11月号を聞きましたよ。

「桐原春子の花紀行」や「アナログゲーム小学校で活用」や「おばちゃんのマナー」や「少年よ大志を抱け」や「もったいない語辞典」や雅楽や「地名の知」や、「うそつきは秋の始まり」や、「小川聖子の夕食クリップ」や「戦後70年想う」「まぼろしのさつま芋」など、いつもながら盛り沢山な内容ですが、今後ともためになる記事を聞かせて下さい。寒さに向かいますがお身体ご自愛ください。ごきげんよう。

山口 桂子 2015.12.2

大変返却が遅くなり申し訳ありません。

毎回楽しみにしています。いろいろな情報をキャッチ出来るので嬉しいです。

来年もどうぞよろしくお祈りします。ありがとうございました。皆様どうぞよいお年を。



前田 絹子 2015.12.15

大変お世話になっています。楽しく、そして知らないことも多くありますので勉強させて頂いています。

母の介護で田舎に行っていたので返却が大変遅くなり申し訳ありません。私の家は昆陽池の側なので緑の木の葉を眺めながらお茶しながら「声のアルバム」聞いております。皆様の暖かい声で、幸せな時間を過ごさせて頂いています。支えて頂きありがとうございます。



籠谷賢治さんからの年賀状

謹賀新年

皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。



伊原木花道さんからの年賀状



あけまして

おめでとうございます

皆様お元気ですか。昨年の交流会には行く事が出来ずすみませんでした。今年は皆様にお会いできるのを楽しみにしています。(代筆、母)

花時計プログラム



花時計 12月号 ともしび

1. 大阪市中央卸売市場本場の見学
2. 「あすの話題」より
昆布のビンテージ
3. はじめてのみそ作り
4. 幕末から大正までを生きた
女性実業家 広岡浅子の生き方
5. 「みちの辺の花」より千両
文・杉本秀太郎 絵・安野光雅
6. (石田衣良著)
「てのひらの迷路」より
ウエイトレスの天才

花時計 1月号 はあもにい

1. 王子動物園のチンパンジー
ジョニーの話と申の絵本の朗読
2. 神戸マラソン観戦レポート
3. ワクワドキドキ
どんな人会えるかな?
神戸市消防局をたずねて
4. Marcy のミュージックカフェと
1万人の第九合唱団体験記
5. 新刊単行図書のご案内
6. お便り

花時計 2月号 神戸YWCA

1. 鬼の話
2. アーモンドの花咲くモロッコへ
3. アマがママになりましたん
4. エキスポシティ「ニフレル」を
たずねて
5. 作家の口福
6. リスナー便り

花時計 3月号 こすもす

1. 桜の季節へのいざない
「花の下」「岡本と笹部桜」
2. お酒のエッセイ「ボトルキープの謎」
「さまざまなキープ」
3. 河合和子の旅だより
「ドイツ、ロマンチック街道の旅」
4. 朝日新聞より
コラム「折々のことば」
5. 暮らしの手帳
すてきなあなたにより「雨と傘」
6. 「原節子あるがままに生きて」より
「原節子の流儀」
7. 新しい単行図書のお知らせ
8. お便りコーナー

